

効果があると考えられた。また、ケース 1、2 と同様に上昇流が確認できたことに加え、図 40 に示す通り、弱い渦流が発生していることが確認できた。以上より、カキ礁自体の大きさ形状に加え、カキ礁同士の配置等も検討することが造成に必要であると考えられた。

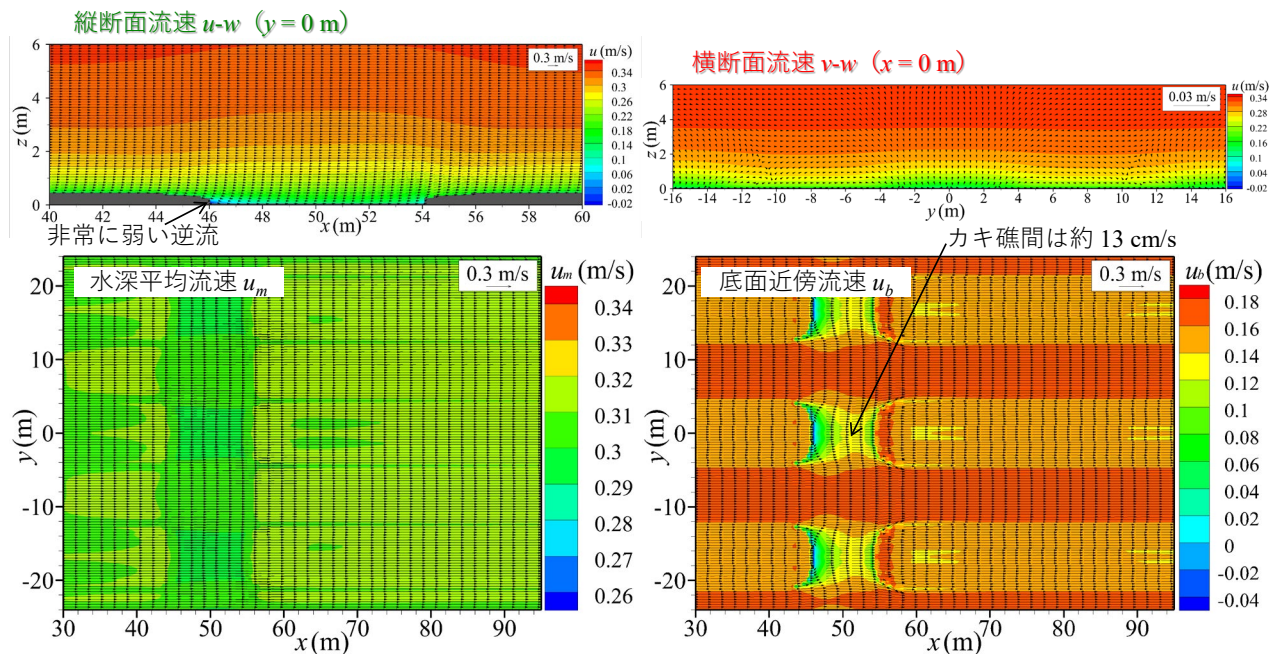


図 42 シミュレーション結果 (ケース 3)

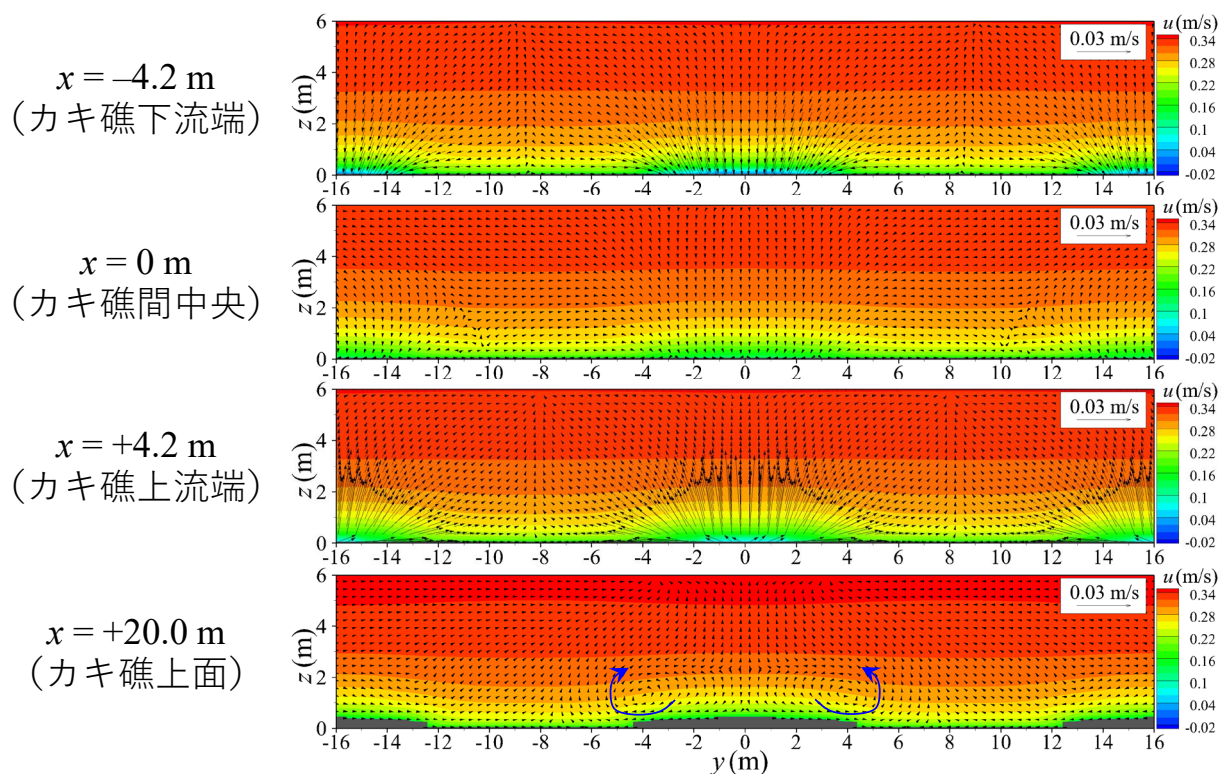


図 43 ケース 3 における断面流速 (拡大)